

**「主体的・対話的で深い学び」
の実現に向けた授業展開および
評価方法について**

- **精選 工業情報数理**

1. 工夫

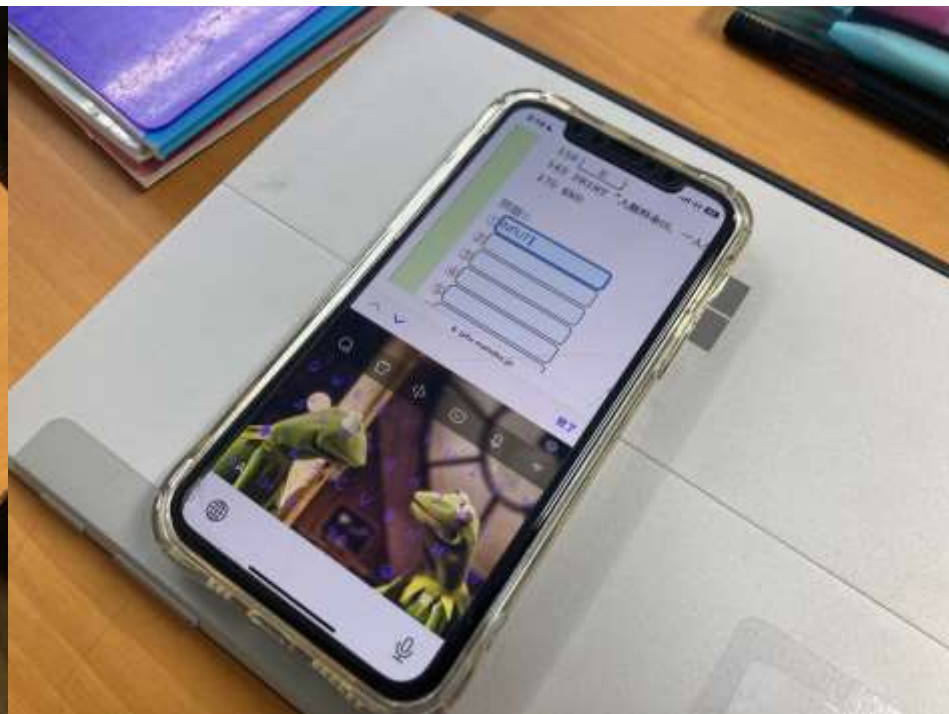
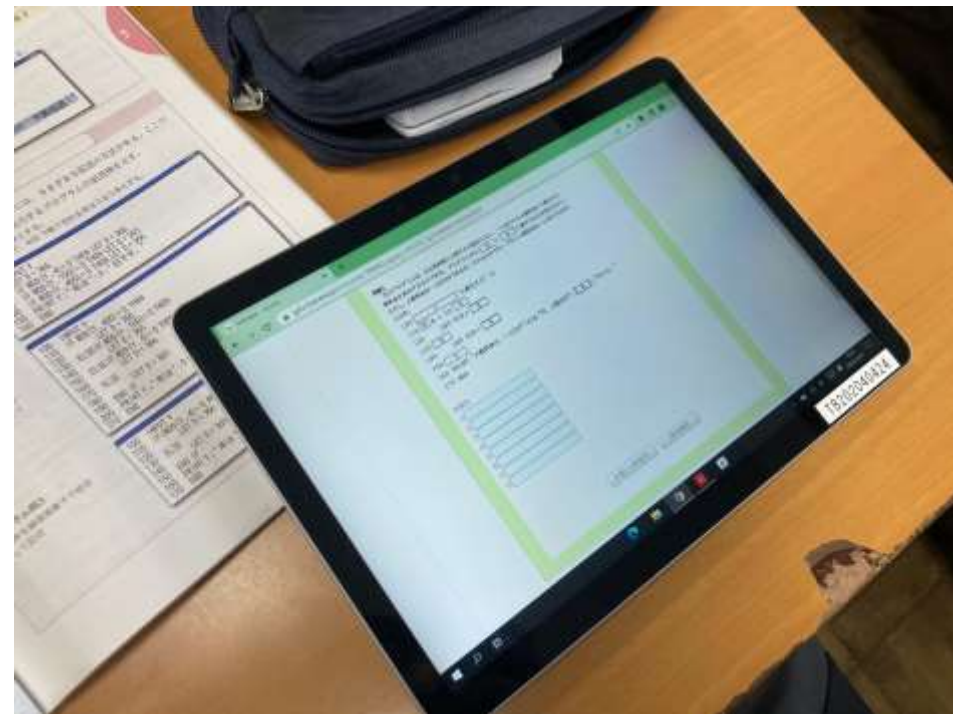
2. 課題

3. まとめ

1. manaba

2. MetaMoji

3. プロジェクター



活用例

▶ 復習問題 宿題

		正解 (1.1)	配点 (1.1)	正解 (1.2)	配点 (1.2)	正解 (1.3)	配点 (1.3)	正解 (1.4)	配点 (1.4)	正解 (1.5)	配点 (1.5)	正解 (1.6)	配点 (1.6)	正解 (1.7)	配点 (1.7)	正解 (1.8)	配点 (1.8)
		INPUT PROMPT	10	IF	10	THEN	10	600	10	ELSE	10	500	10	END IF	10	KIN*N;N:	10
name 氏名	grade 合計 点	回答 1.1	得点 1.1	回答 1.2	得点 1.2	回答 1.3	得点 1.3	回答 1.4	得点 1.4	回答 1.5	得点 1.5	回答 1.6	得点 1.6	回答 1.7	得点 1.7	回答 1.8	得点 1.8
	10	INPUT PROMPT	0	600	0	500	0	0	0	ELSE	10	0	0	0	0	0	0
	50	INPUT PROMPT	0	IF	10	THEN	10	600	10	ELSE	0	500	10	END IF	10	0	0
正答数			19		29		28		21		21		20		15		4
割合			54%		83%		80%		60%		60%		57%		43%		11%

	15		4
	43%		11%

利点

- ▶ 学習理解度の確認
- ▶ 時間短縮

2. MetaMoji

7

The screenshot shows a digital workspace titled "0707 自然アルゴリズム (P86)". The main content is a lesson plan for "1) アルゴリズムと流れ図をつくってみよう P86". It includes a "練習問題②" section with a problem statement: "① 本を3冊購入する。このとき、本の値段A, B, Cを読み取り、それらの金額の合計Sと価格の平均値を求める出力するアルゴリズムを検討し、流れ図を添えなさい。"

The workspace is divided into two columns:

- ①アルゴリズム**: A list of five steps for an algorithm:
 - ①数値の読取りを()回行いそれを() () ()として記憶する
 - ②() + () + ()の和を求め()として記憶する
 - ③() ÷ ()を計算し()として記憶する
 - ④()と()を表示する
 - ⑤処理を終了する
- ②流れ図**: A vertical flowchart template starting with an oval labeled "はじめ" (Start) and ending with an oval labeled "おわり" (End). There are several empty shapes (parallelograms for input/output and rectangles for processing) in between.

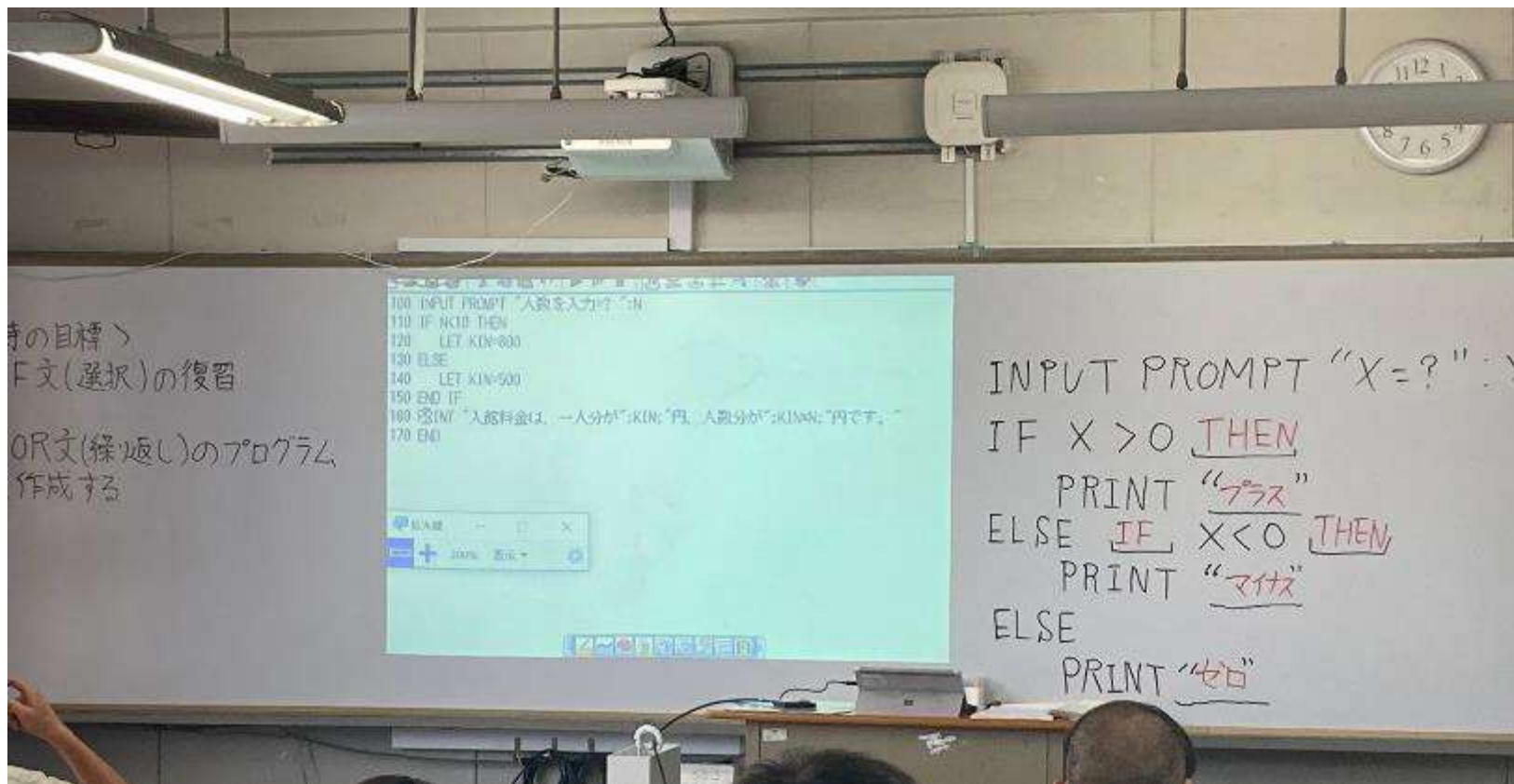
活用例

▶ 授業ノート 宿題



利点

▶ 個々の学習状況をリアルタイムで把握



活用例

- ▶ BASICプログラムの実演 etc

ポイント

- ▶ 単元毎に 1 回以上
- ▶ グループ内で役割を設定

1. 工夫

2. 課題

3. まとめ

ICT活用

- ▶ タブレットの準備不足
- ▶ 時間がかかる（初期）

グループワーク

- ▶ 時間がかかる
- ▶ 個々の理解度を把握できない

1. 工夫

2. 課題

3. まとめ

ICT活用

- 時間短縮
- 理解度確認
- △授業時間

グループワーク

- 主体的な学習
- △理解度確認
- ×授業時間

今後について

- ・時間を短縮した分 ▶ 主体的学習に
- ・理解度確認する場面 ▶ ICT活用

1. 評価の方法
2. 評価から評定
3. 課題及び考察

3 観点の割合について

- ▶ 知識・技術 35%
- ▶ 思考・判断・表現 30%
- ▶ 主体的に学習に取り組む態度 35%

評価方法

- ▶ 知識・技術
 - ・ 定期考査、課題考査
- ▶ 思考・判断・表現
 - ・ 定期考査
- ▶ 主体的に学習に取り組む態度
 - ・ 小テスト, 提出物, 授業態度

1. 評価の方法
2. 評価から評定
3. 課題及び考察

観点別評価方法

対応する評定	観点別学習状況評価
5	AAA AAB
4	AAA AAB ABB
3	ABB BBB
2	BBB
1	Cが一つでもついたら

※A：70%以上 B：20～69% C：20%未満

評価から評定（3観点の合計から）

5 : 90% 以上

4 : 70 ~ 89%

3 : 50 ~ 69%

2 : 50% 未満

1 : テスト未受験・定期考査にて
再試験対象となった場合

1. 評価の方法
2. 評価から評定
3. 課題及び考察

課題

- ▶ 授業毎の評価ができていない
(2 観点について)

今後

- ▶ 協議時間の確保
- ▶ 人によって偏らない授業評価